



■老舗菓子店の前で、身体が喜ぶお饅頭です。 ■葉草の神とされた神農堂・鳥明神社

10月29日(日)

～歴史探訪～
鶴岡駅前江戸・明治を歩く

(参加者/34名)

「学ぶ×歩く×食す」を体験する「まち歩き」として、鶴岡商工会議所と同観光部会が主催。鶴岡駅前をスタートし約4kmのコース。始めに立ち寄ったのは、鳥明王祭で知られる長泉寺の「鳥明王」。次に鶴ヶ岡城鬼門鎮護、龍覚寺。そして般若寺に眠る、女流作家・田沢稲舟と超能力者・長南年恵のお墓参りをしたあと、蓮池小路やばら小路を通りながら山王日枝神社へ。歴史館では神社の方から1611年に最上義光が奉納した「鰐口と鉄鉢」を見せていただきました。後半は江戸時代につくられた道路の分かれる所の道しるべ「追分石」、愛宕神社(一本持地蔵と称された地蔵尊)の解説を聞き鶴岡駅前に到着しました。鶴岡市観光ガイド協議会メンバーの案内に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん。「今までなんとなく知っていた場所の歴史を知って楽しくなった」など感動の声も。途中、老舗菓子店などに立ち寄り、逸品を味わいながら店主との会話を楽しむ方。家族にお土産として購入する方もいました。当所では自分のまちの歴史を楽しく学び、城下町鶴岡の素晴らしさを発信できるように事業を展開していきます。



■本丸御隅櫓跡を確認

■講師の秋保先生による座学

11月20日(月)

～城下町鶴岡を学ぶ～
「鶴ヶ岡城」についての勉強会

(参加者/43名)

鶴ヶ岡城址(鶴岡公園)には城下町の雰囲気も求めたくさんの観光客が訪れています。明治になってお城は解体されましたが、鶴ヶ岡城址が純日本100名城(日本城郭協会選定)に選ばれたこともあり、お城への関心が高まっています。観光部会では、市民の皆さんが「鶴ヶ岡城」についての知識を深め、城下町鶴岡としての魅力をどう発信していくのかを考える機会として勉強会を開催しました。講師の秋保良氏(鶴岡市編纂委員)は座学で室町時代の大宝寺城から明治に解体されるまでの歴史や城の構造、御隅櫓、また十一ある木戸口のことなどを解説。その後、鶴ヶ岡城址(鶴岡公園)を歩きながら御隅櫓跡や土塁、濠、またベンチとして再利用された石垣の石などを見学。参加者の中には、「以前から鶴岡の歴史やお城に興味があったが、初めて学んだことも多く興奮している。さらに興味湧いてきた。」との感想がありました。

「学ぶ×歩く×食す」を体験する「まち歩き」として、鶴岡商工会議所と同観光部会が主催。

観光部会

新入会員 14名と当所正副会頭、各部会長、青年部、女性会会長11名が参加。

第一部「商工会議所ガイダンス」では商工会議所を有効に活用していただくために活動内容、経営支援メニュー、青年部活動、女性会活動の紹介が行われ、商工会議所への理解を深めました。

続いて、第二部「当所役員との交流懇談会」では、参加事業所より事業概要、企業PR、今後の事業展望について、それぞれ発表を行いました。

その後の交流懇親会では、ビジネスチャンスの場として当所役員と参加者が名刺交換を行い、互いに交流を深めました。



日時/10月27日(金) 場所/グランド エル・サン

第2回 鶴岡商工会議所
新会員交流懇談会

●報告事項

- (1) 9月～10月の各種会議報告
- (2) 議員の職務を行う者の変更について
- (3) 鶴岡市共通商品券「荘内藩藩札」発行実施報告
- (4) 各部会視察研修等報告
- (5) 第5回日本海沿岸工業部会交流会開催報告
- (6) 鶴岡高専保護者向け地元企業説明会報告
- (7) つるおか大産業まつり報告

●協議事項

- (1) 新会員の承認について
- (2) 中期行動計画の推進に係る委員会の委員について
- (3) 第56回鶴岡商工会議所会員企業従業者表彰者について
- (4) 第14回創業・創立記念会員事業所顕彰事業所について

10月

●報告事項

- (1) 10月～11月各種会議報告
- (2) 管内の7月～9月景況調査集計結果について
- (3) 各部会視察研修等活動報告
- (4) ビジネスマッチ東北2017出展報告
- (5) 採用関連実態調査報告

●協議事項

- (1) 新会員の承認について

鶴岡商工会議所
定例常議員会報告

11月

●報告事項

- (1) 11月～12月の各種会議報告
- (2) 議員の職務を行う者の変更について
- (3) 平成30年度鶴岡市への要望書提出報告
- (4) 第56回鶴岡商工会議所会員企業従業者表彰開催報告
- (5) 第14回創業・創立記念会員事業所顕彰開催報告
- (6) 「鶴岡ものづくり企業懇談会」開催報告
- (7) 当所中間監査実施報告
- (8) 青年部活動報告
- (9) 女性会活動報告

●協議事項

- (1) 新会員の承認について
- (2) 中期行動計画の推進に係る委員会の委員について

12月

11/9-10 工業部会と鶴岡エネルギー懇談会
合同視察研修会



場所/東北電力(株)女川原子力発電所、農業生産法人マキシマファーム、(株)仙台秋保醸造所

◎女川原子力発電所/平成25年以來の再訪。東日本大震災の教訓から耐震・電源確保・冷却機能の確保等の対策が進められ、特に防潮堤(高さ約15m、海拔約29m)建設は、前回見学時から大きく進捗しており、参加者一同その巨大さに驚きました。

◎マキシマファーム/オランダ式水耕栽培技術を活用した「松島トマト」を生産・販売する農業生産法人。土を使わない温室野菜栽培技術と、コンピューターによる生育環境の制御方法等について、ガラスハウス内を見学しながら説明を受けました。オランダ式栽培法は、とにかく太陽光が大事で、日照時間の少ない地域での導入は難しいとのこと。

◎仙台秋保醸造所/平成27年に秋保温泉郷の中心部にオープンしたワイナリー。県内の果樹を利用したワインを生産・販売するだけでなく、沿岸部の漁業者等との連携による新たなブランドの創出や、ワインを中心としたツーリズムを企画するなど、東北の活性化のために幅広い活動を行っており、これからの産業は自社努力だけではなく、業種や地域を越えた幅広い連携が必要だと学びました。

10/24-26 運輸交通部会視察研修
ダイハツ「コペンファクトリー」の工場見学



場所/ダイハツ本社工場「コペンファクトリー」

大阪府池田市のダイハツ本社工場にある「コペンファクトリー」は、軽オープンスポーツカー「コペン」を生産しており、一般的な車の生産ラインとは違い、お客様と「身近でつながる工場」をコンセプトに設計された、生産技術者の顔が見える明るく素敵な工場でした。

1台1台丁寧に手作りで作業されており、キズや汚れをつけないためにマットやプロテクタが活用され、大切に組み立てられています。最終組み立てラインでは、シャワーテストなどの走行チェック作業をガラス越しに見学ができ、女性の技術者も活躍しておりました。また、「D-Frama」と呼ばれる独自の骨格構造と、着脱可能な樹脂製外板にすることで、購入後もデザインや色の変更が可能となったそうです。コペンファクトリーを通じて、ダイハツの歴史や取組み、モノ造りへのこだわりを感じることができました。

10/23 小売商業部会視察研修
天童まちなか大学の取り組みとまちゼミ体験



場所/天童商工会議所、ソーラーワールド(株)、(株)天童木工

◎天童商工会議所/佐野宏美副会頭より「天童まちなか大学」開校の経緯についてご説明いただきました。「天童まちゼミが平成29年度に10回目を迎えることから、これまでの開催経験等を活かしてコラボ講座とスタンプラリーを創設。顧客化を図る手立てとしての体験をあえて商売の営業と言わずにソフトに学びの印象をアピール。天童市全体を大学に見立て商店こそが生きた学びの場と位置付けて、商店を全面に打ち出した「天童まちなか大学」に発展。参加者1000名を目指している。」

◎ソーラーワールド(株)/まちゼミ体験では、ソーラーワールド(株)竹内賢二社長より、地球やエネルギーについてクイズ形式で学んだ後、太陽光電池パネルの電気を100%利用した工具でガラスピンへの絵掘りを体験。

◎(株)天童木工/加藤昌弘社長より歓迎のご挨拶の後、深瀬行正総務部参事のご案内でロボットではなく全て人の手で作られ、細部に亘りお客様に満足していただける家具作りをされていることに感動。世界的に認められた企業が県内で活躍されていることを誇りに感じました。

11/9-10 サービス部会視察研修
伊那食品工業(株)にて企業理念や人材育成を学ぶ



場所/伊那食品工業(株)

伊那食品工業(株)は、国内シェア80%を占める寒天業界のトップメーカーで「日本で一番大切にしたい会社」にも紹介されており。今回の研修では、取締役の丸山勝治様より、企業理念及び人材育成についてご指導頂きました。

伊那食品工業(株)は、社員の幸せを何よりも一番に考え、一年一年ゆっくりと着実に成長する「年輪経営」により、売上は50年間増収し続けております。社是である「いい会社をつくりましょう」は、業績や財務に優れた「強い企業」ではなく、従業員、取引先、顧客、地域社会など会社を取り巻くすべての人々から「いい会社だね」と言ってもらえる企業であることを目指し、経営者だけでなく社員一同が社是を理解しその実現に向けて取り組んでおります。急成長することや多くの利益を計上することを企業は求めがちですが、何よりも働く社員を大切にするという経営者のゆるぎない信念に感銘を受けました。